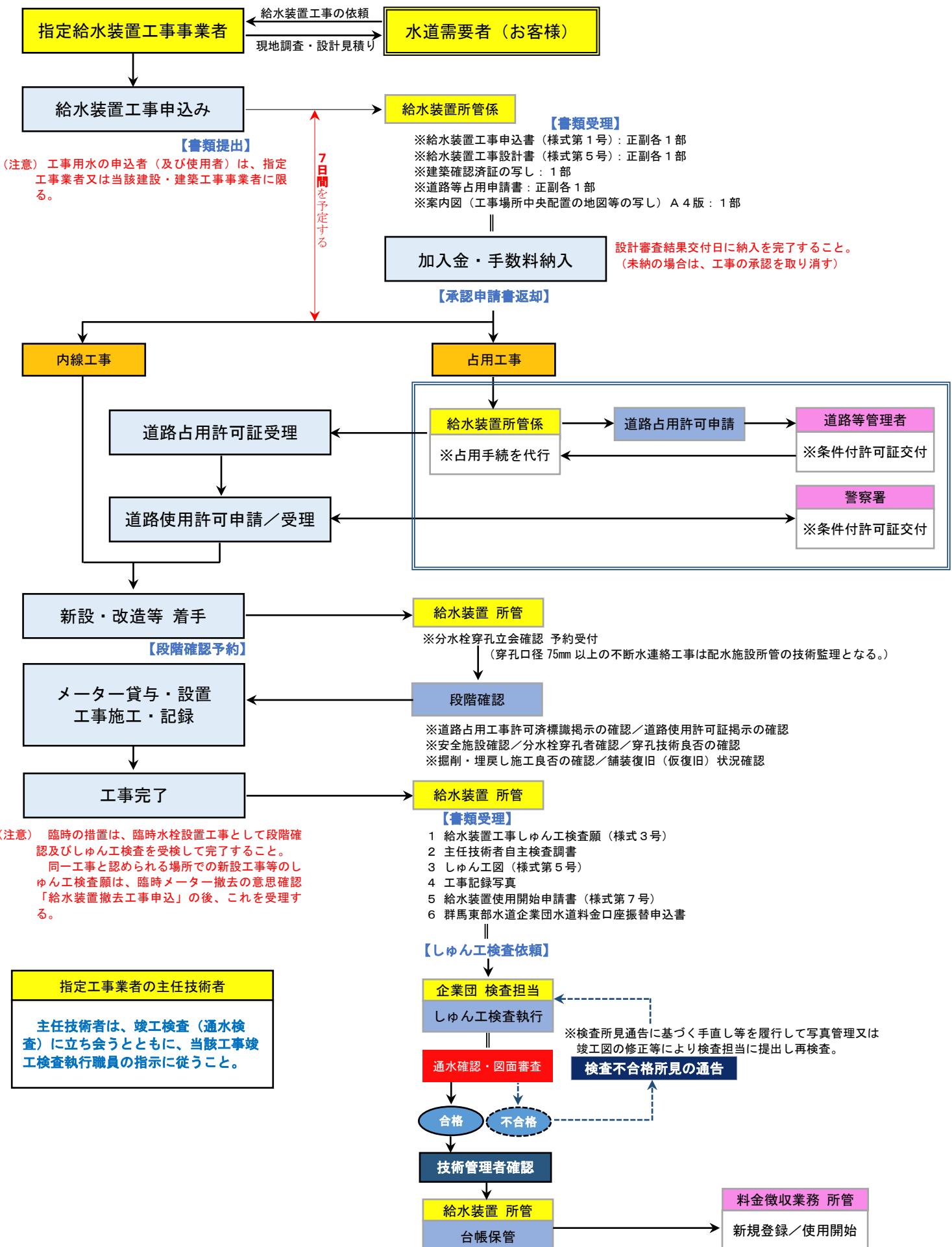


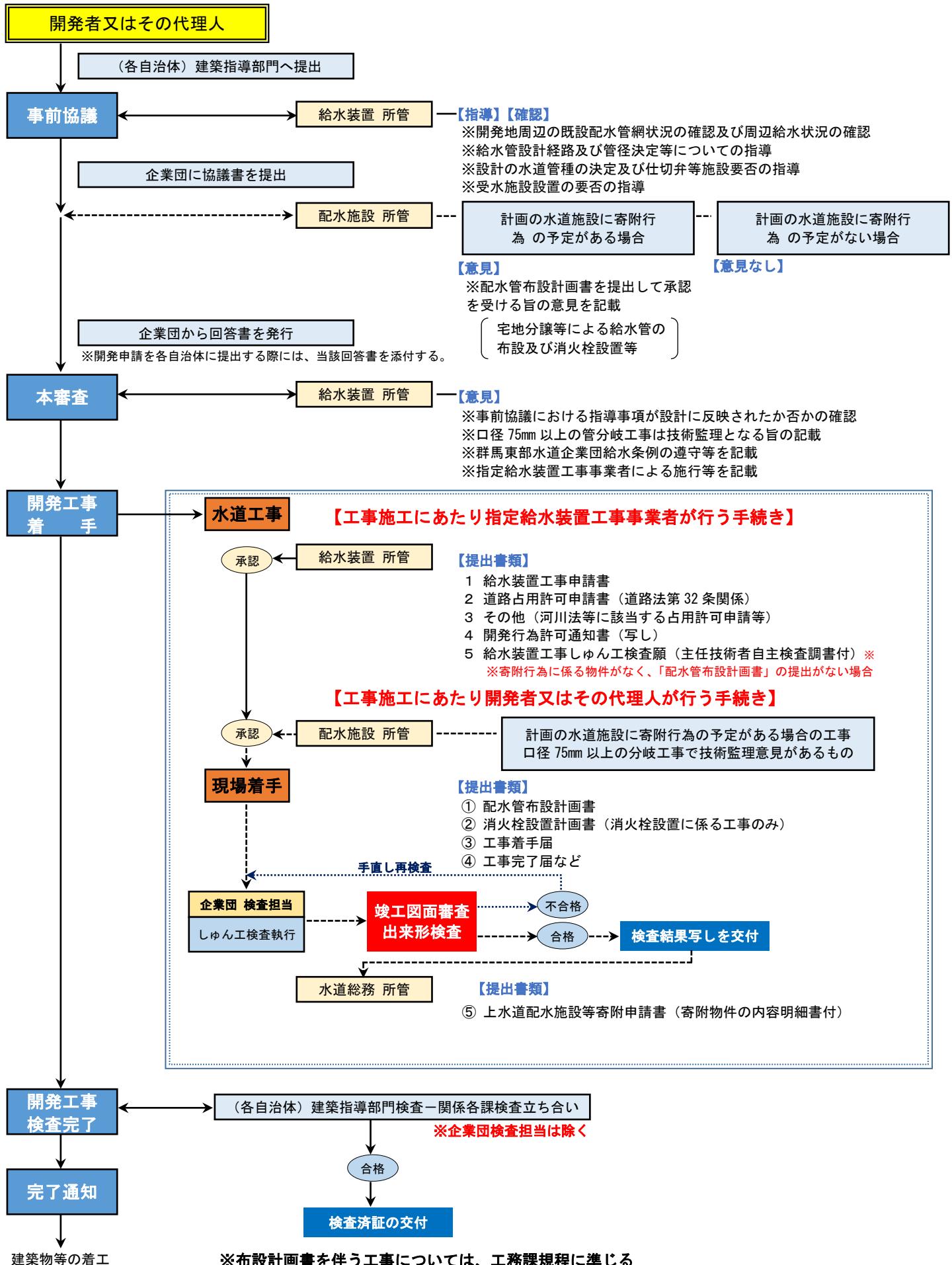
09. 資料

給水装置工事の手順

(工事申込みから水道メーター貸与まで)

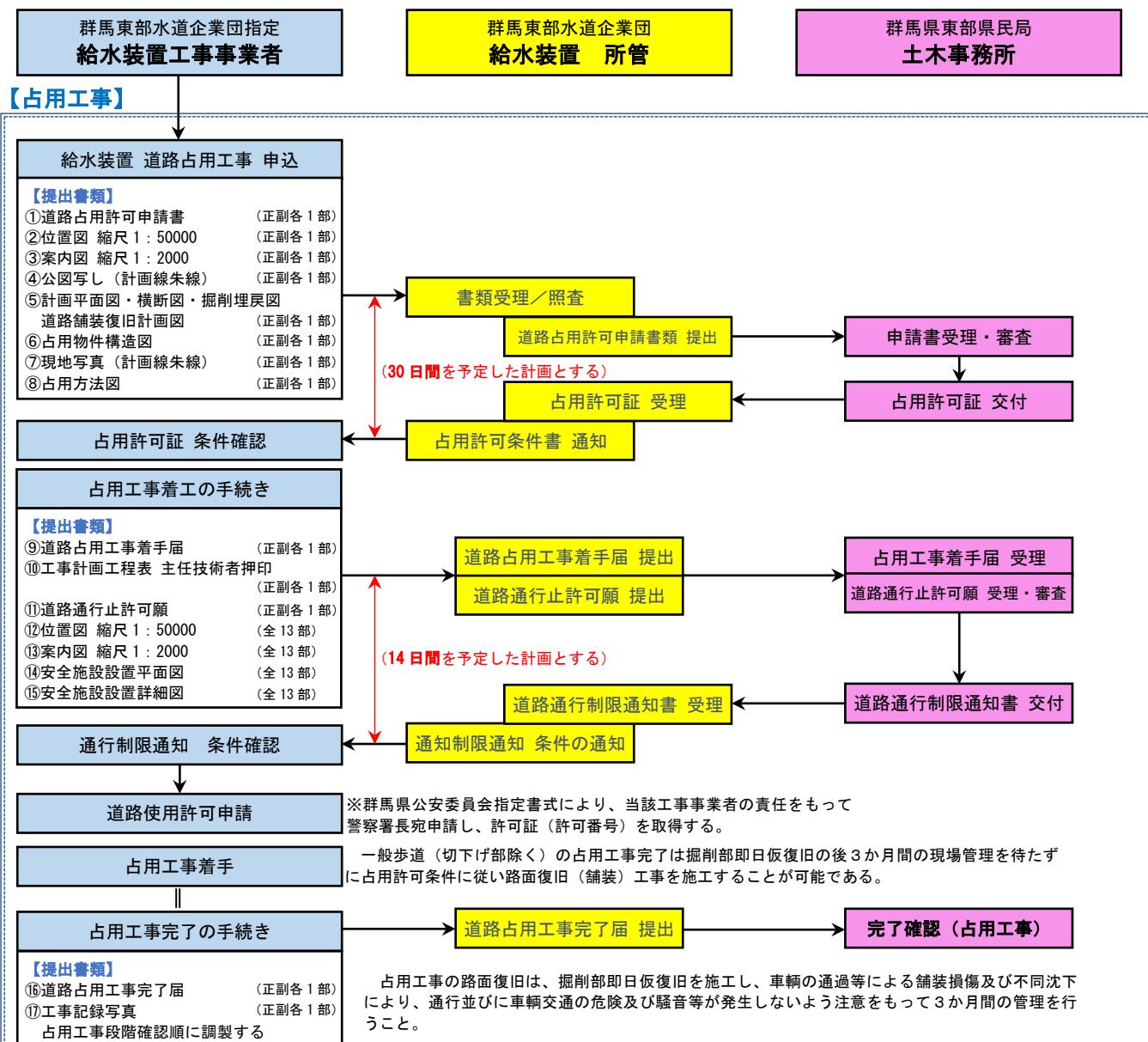


開発事業指導要綱に伴う水道工事の手順

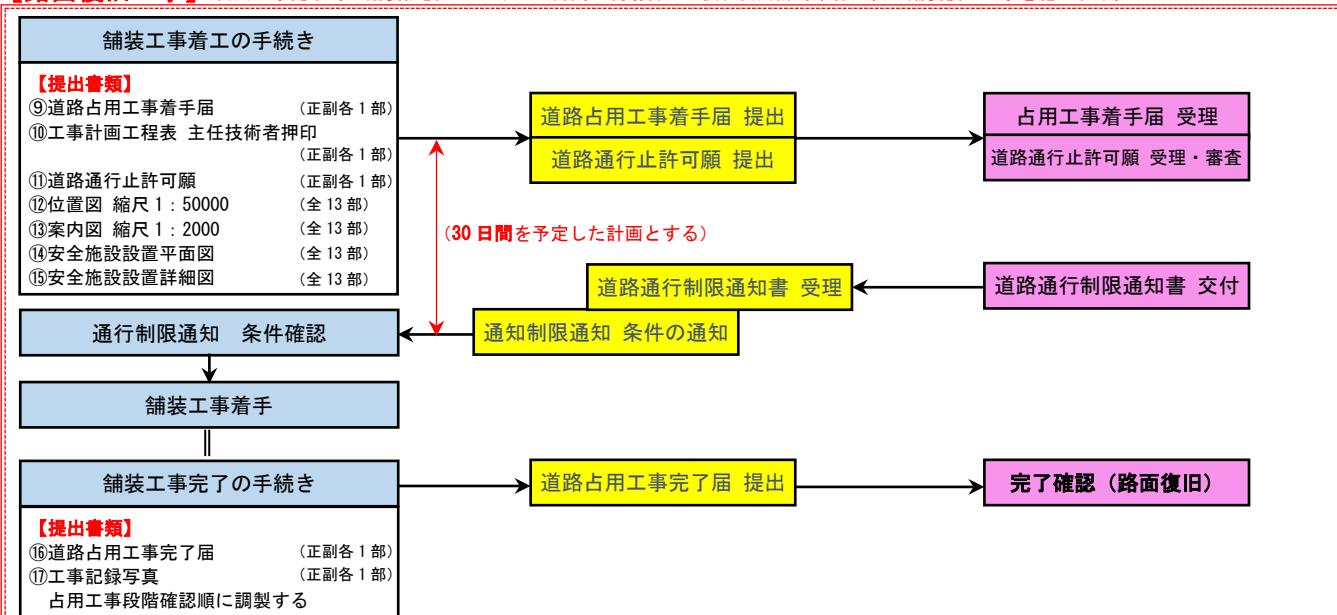


道路占用工事の手順（国道・県道）

以下は、国道及び県道に関する給水管（給水装置）の占用工事を実施する場合に給水装置工事申込書と同時に水道事業管理者が代行する道路管理者（群馬県）に対する道路占用許可申請等、占用工事着手から完了までの手順を記載する。

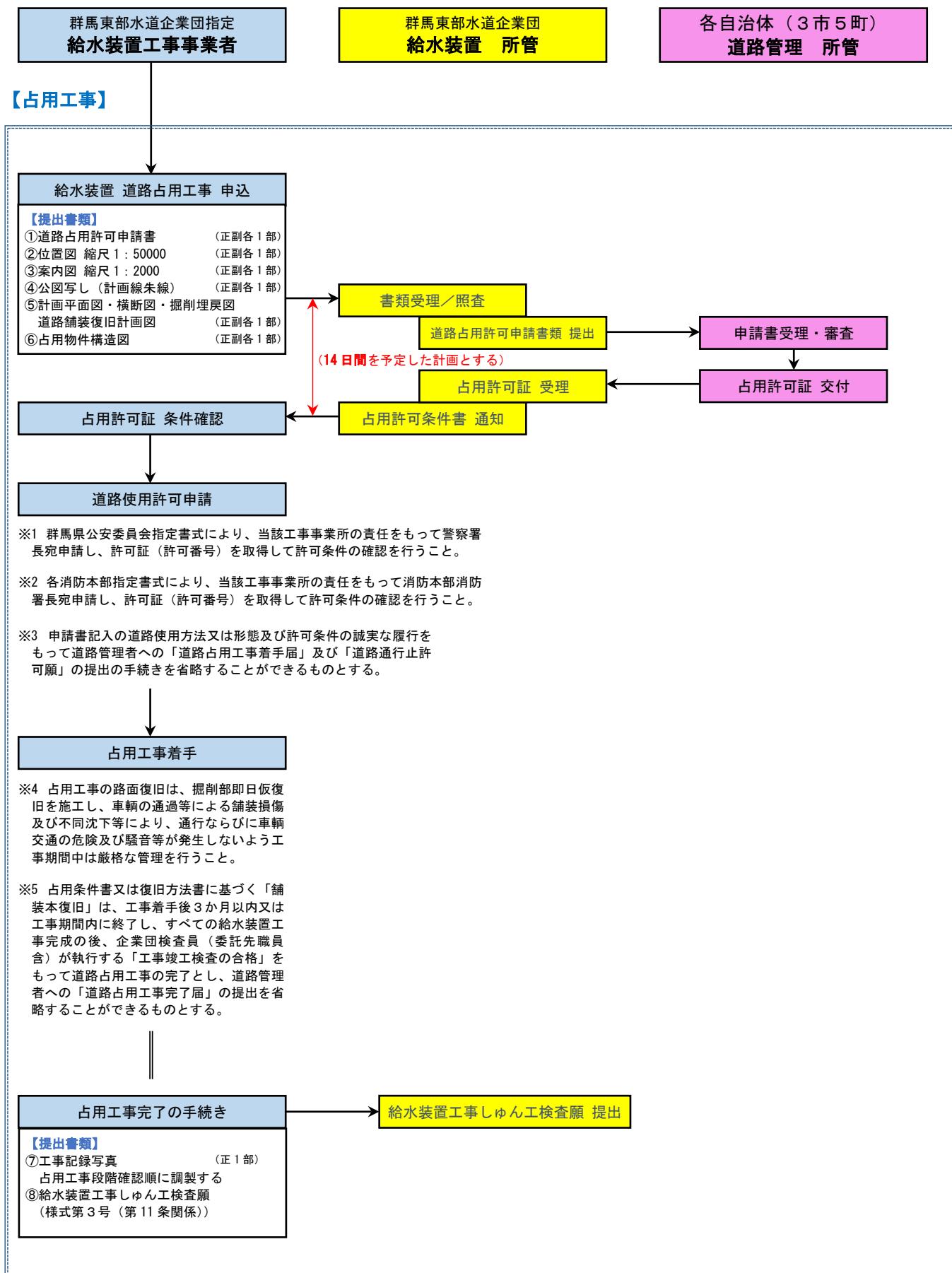


【路面復旧工事】 計画終了時の舗装復旧により3か月間の現場管理の後、占用許可条件に従い路面復旧工事を施工する。



道路占用工事の手順（市道）

以下は、市道に関する給水管（給水装置）の占用工事を実施する場合に 給水装置工事申込書の提出とともに、水道事業者が代行する道路管理者に対する道路占用許可申請等、占用工事着手から完了までの手順を記載する。



開削工事の掘削断面決定要領

群馬東部水道企業団

開削工事の掘削断面決定

1. 断面決定上の留意事項

- (1) 指定工事業者の主任技術者は、管布設の掘削にあたって予定地における道路状況、地下埋設物土質条件、周辺の環境、及び布設後の管土被り等を総合的に検討して、安全かつ確実な施工ができるような「掘削断面」及び「土留め方法」を決定すること。
- (2) 掘削深度が 1.5m を超える場合は、掘削切取面がその箇所の土質に見合った勾配によって地山の崩落なく掘削できる場合を除き、土留工を施すこと。
- (3) 掘削深度が 1.5m 以内であっても、掘削切取面に自立性が乏しい地山の掘削については、施工の安全を確保でき得る適切な勾配を定めて断面を決定するか、または土留工を施すこと。

2. 掘削方法

- (1) 掘削は機械施工を原則とし、道路の有効幅員又は占用位置等以下に掲げる諸条件により機械掘削が困難又は不適当と判断する場合は、人力掘削による施工としなければならない。
 - ① 下水道、ガス、電気、電話等の地下埋設物及び人家等周辺の構造物の設置状況。
 - ② 地形（道路の幅員及び屈曲、傾斜等）及び地質（岩、転石、軟弱地盤等）による作業性。
 - ③ 道路管理者及び交通管理者による工事許可の条件等。
 - ④ 工事現場への機械輸送の可否。
 - ⑤ 機械掘削と人力掘削との経済比較。
- (2) (1)の①若しくは②による「人力掘削」の範囲は、埋設物の輻輳状況等の施工環境により、主任技術者が決定すること。

3. 掘削幅の算定

掘削幅は、【表-9.5.1 開削工事の掘削幅算定表】（企業団が行う配水管拡張新設及び既設管改良更新を目的とした設計の際に用いる【掘削幅算定計算書（別表-1 及び別表-2）】に基づき、算出したもの）の値とすることができます。

なお、これに拠らない場合は、施工目的の管種管径における管の吊り込み時及び管の接合時の基準書に基づく掘削幅の計算根拠又は作業条件等を示して設計審査を受けること。

ただし、管接合作業及び埋戻し作業を考慮し、最小掘削幅は地山内寸法（土留め矢板厚は別途加算）で 50 cm とすること。

【表-9.5.1 開削工事の掘削幅算定表】

（数量単位：mm）

種別	掘削幅 (B)				種別	
	管径	土留工なし	会所堀			
			掘削深度 (D)	掘削延長 (L)		
	50 以下	500	合成樹脂管は適用なし		50 以下	
	75	600	300	500	75	
	100	650			100	
	150	700			150	
	200	750			200	
	250	800			250	
	300	850			300	
	350	900			350	
	400	950			400	
	450	1000			450	

注) 「土留工あり」の掘削幅は、「木矢板（矢板長 3.0 m 未満）、木製支保材」の使用を原則とした算出
数値であるが、「軽量鋼矢板、軽量金属支保材」を使用する場合も適用できることとする。

上記掘削幅算定表は、別表 1 及び別表 2 の「掘削幅算定計算表」に基づき作成したものである。

なお、呼び径 200～450 までの「掘削幅」は参考値として記述したものである。

4. 標準掘削断面

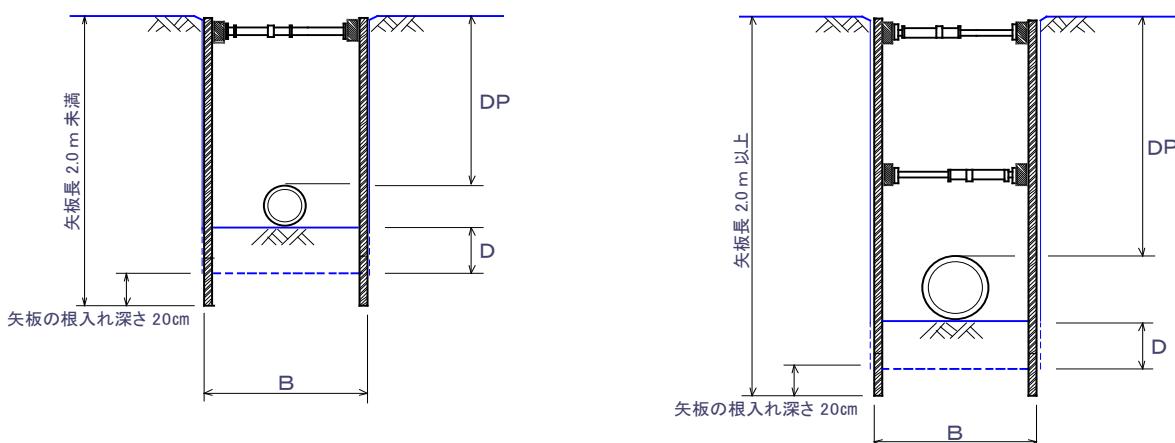
(1) 標準掘削断面は以下とし、この標準断面を適用できる工種は次のとおりとする。

- 1) 管布設工
- 2) サドル付分水栓取付工（分水栓取付部位）
- 3) 不断水連絡工（割T字管設置部位）

上記2) 及び3)における不断水分岐工事部位において適用する掘削幅は、「既設管の口径」に対するものとし、既設管縦断方向の掘削延長は「掘削幅」と同じかそれ以上とすることができるが、概ね1.5m以内とすることが望ましく、広範囲に既設路床、路盤等を乱す様な規模の掘削等は控えること。なお、「不断水簡易仕切弁設置工」又は「レジンボックス設置工」等における断面は別に定める。



(2) 木矢板及び軽量鋼矢板を使用する場合の標準掘削断面は(1)の各工種共に、以下に示す断面によることとする。



注) 上記土留工の模式図は、軽量鋼矢板及び軽量金属支保材を用いたものであり、現場毎においてその土留仮設材料を限定するものではない。

また土留工の矢板設置について、根入深さは断面図に明記した数値（20cm）以上を以て施工することを原則とし、根入れなしの「掛け矢板」としてはならない。

管径 (mm)	B (m)	D P (m)	D (m)	L (m)
350 以下	表-9.5.1	—	0.30	0.50
400～	表-9.5.1	—	0.60	0.80

備考 D P : 管埋設深度（路面から管頂部までの距離）
D : 会所掘の掘削深度
L : 会所掘の掘削延長
道路管理者から指示のある場合は別に定める。

(3) 土質、埋設物、土留方法、継手方法、その他の条件により(1)、(2)による2つの標準断面により難い場合は、指定工事業者の主任技術者が適宜その方法を決定して設計審査を受けること。

別表1

掘削幅算定計算表（土留工なし）

(数值单位 : mm)

別表1		掘削幅算定計算表(土留工なし)																		(数値単位: mm)					
作業形態	項目 諸数値	管最大外径(D5)																		項目 諸数値	作業 形態				
		吊込み余裕幅																							
		管外径(D2)																							
		接合作業幅																							
		矢板厚																							
		復起し材幅																							
管種 管径	ポリエチレン管		A形		K形		KF形		S形		SⅡ形		フランジ		T形		NS形		U形		UF形		US形		管種 管径
	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	諸数値	掘削幅	
吊込み	50以下	88.0	188																						50以下
		50.0																							
接合	75	50.0																							75
		100.0	250																						
吊込み	100	197.0	197.0	297							224.0	211.0	311	144.0	161.0	244	190.0	290							100
		50.0	297	50.0	297						50.0	324	50.0	93.0	50.0	93.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
接合	150	93.0									93.0														150
		150.0		150.0							150.0														
吊込み	200	118.0									118.0														200
		118.0	332	50.0	332						50.0	355	50.0	118.0	50.0	118.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
接合	250	169.0									169.0														250
		250.0		250.0							250.0														
吊込み	300	220.0									220.0														300
		220.0	438	50.0	438						50.0	464	50.0	220.0	50.0	220.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
接合	350	220.0									220.0														350
		250.0		250.0							250.0														
吊込み	400	272.0									272.0														400
		272.0	772	0.0	772						0.0	772	0.0	772	0.0	772	0.0	772	0.0	772	0.0	772	0.0	772	
接合	450	322.8									322.8														450
		322.8	823	0.0	823						823	0.0	823	0.0	823	0.0	823	0.0	823	0.0	823	0.0	823	0.0	
吊込み	500	374.0									374.0														500
		374.0	874	0.0	874						874	0.0	874	0.0	874	0.0	874	0.0	874	0.0	874	0.0	874	0.0	
接合	550	425.6									425.6														550
		425.6	926	0.0	926						926	0.0	926	0.0	926	0.0	926	0.0	926	0.0	926	0.0	926	0.0	
吊込み	600	500.0									500.0														600
		500.0	1,131	0.0	1,131						1,131	0.0	1,131	0.0	1,131	0.0	1,131	0.0	1,131	0.0	1,131	0.0	1,131	0.0	
接合	650	530.8									530.8														650
		530.8	1,028	0.0	1,028						1,028	0.0	1,028	0.0	1,028	0.0	1,028	0.0	1,028	0.0	1,028	0.0	1,028	0.0	
吊込み	700	586.0									586.0														700
		586.0	993	50.0	993						993	50.0	993	50.0	993	50.0	993	50.0	993	50.0	993	50.0	993	50.0	
接合	750	586.0									586.0														750
		586.0	1,433	0.0	1,433						1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	
吊込み	800	636.0									636.0														800
		636.0	1,536	0.0	1,536						1,536	0.0	1,536	0.0	1,536	0.0	1,536	0.0	1,536	0.0	1,536	0.0	1,536	0.0	
接合	850	686.0									686.0														850
		686.0	1,096	50.0	1,096						1,096	50.0	1,096	50.0	1,096	50.0	1,096	50.0	1,096	50.0	1,096	50.0	1,096	50.0	
吊込み	900	733.0									733.0														900
		733.0	1,433	0.0	1,433						1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	
接合	950	786.0									786.0														950
		786.0	1,839	0.0	1,839						1,839	0.0	1,839	0.0	1,839	0.0	1,839	0.0	1,839	0.0	1,839	0.0	1,839	0.0	
吊込み	1000	836.0									836.0														1000
		836.0	1,941	0.0	1,941						1,941	0.0	1,941	0.0	1,941	0.0	1,941	0.0	1,941	0.0	1,941	0.0	1,941	0.0	
接合	1050	886.0									886.0														1050
		886.0	1,433	0.0	1,433						1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	1,433	0.0	

別表2		掘削幅算定計算表（土留工あり）														(数値単位 : mm)		
作業形態	項目 諸数値	管最大外径 (D5) 吊込み余裕幅 管外径 (D2) 接合作業幅 矢板厚 腹起し材幅														項目 諸数値	作業形態	
		管種 管径	ポリエチレン管 諸数値	A形 諸数値	K形 諸数値	KF形 諸数値	S形 諸数値	SII形 諸数値	フランジ 諸数値	T形 諸数値	NS形 諸数値	U形 諸数値	UF形 諸数値	US形 諸数値	管種 管径			
		88.0	50.0	588														
		50.0																
		50.0																
		100.0																
吊込み	50以下	50.0	350													50以下	吊込み	
		150.0																
接合	75		197.0	197.0	697				224.0	211.0	144.0	161.0	644			75	吊込み	
			50.0	50.0	697				50.0	50.0	711	50.0	661					
吊込み	100		93.0	93.0					93.0	93.0		93.0				100	吊込み	
			150.0	150.0	493	493			150.0	150.0	100.0	100.0	393	50.0	693			
接合	100		118.0	118.0					118.0	118.0	118.0	118.0						
			150.0	150.0	718	718			150.0	150.0	100.0	100.0	418	50.0	718			
吊込み	150		232.0	232.0					255.0	238.0	174.0	190.0						
			50.0	50.0	732	732			50.0	50.0	738	50.0	690					
接合	200		250.0	250.0					250.0	250.0	100.0	100.0				200	吊込み	
			50.0	50.0	820	820			50.0	50.0	820	50.0	520	50.0	820			
吊込み	250		338.0	338.0					364.0	342.0	282.0	294.0						
			50.0	50.0	838	838			50.0	50.0	842	50.0	794					
接合	300		220.0	220.0					250.0	250.0	100.0	100.0				300	吊込み	
			50.0	50.0	872	872			50.0	50.0	872	50.0	572	50.0	872			
吊込み	350		394.0	394.0					416.0	410.0	334.0	346.0				350	吊込み	
			50.0	50.0	945	945			50.0	50.0	916	50.0	834	50.0	846			
接合	400		271.6	271.6					271.6	271.6	216.0	216.0						
			50.0	50.0	923	923			50.0	50.0	923	50.0	443	50.0	923			
吊込み	450		504.0	504.0					528.0	530.0	450.0	465.0						
			50.0	50.0	1,004	1,004			50.0	50.0	1,028	50.0	950	50.0	965			
接合	500		374.0	374.0					374.0	374.0	374.0	374.0				500	吊込み	
			250.0	250.0	974	974			250.0	250.0	100.0	100.0						
吊込み	550		613.0	613.0					633.0	652.0	555.0	572.0						
			50.0	1,113	50.0	1,113			50.0	1,133	50.0	1,152	50.0	1,055	50.0	1,072		
接合	600		476.8	476.8					476.8	476.8	476.8	476.8						
			250.0	250.0	1,077	1,077			250.0	250.0	1,077	50.0	777	50.0	1,077			
吊込み	650		664.0	664.0					706.0	608.0	700.0	700.0						
			50.0	1,164	50.0	1,164			50.0	1,206	50.0	1,108	50.0	1,200				
接合	700		250.0	250.0					250.0	250.0	100.0	100.0				700	吊込み	
			50.0	1,128	50.0	1,128			50.0	1,026	50.0	1,026	50.0	546	50.0	1,026		
吊込み	750		771.0	771.0					810.0	713.0	804.0	810.0				750	吊込み	
			50.0	1,271	50.0	1,271			50.0	1,310	50.0	1,213	50.0	1,304				
接合	800		630.8	630.8					630.8	630.8	630.8	630.8				800	吊込み	
			250.0	250.0	1,231	1,231			250.0	250.0	1,231	50.0	931	50.0	1,231			
吊込み	850		893.0	893.0					928.0	826.0	930.0	831.0				850	接合	
			50.0	1,393	50.0	1,393			50.0	1,428	50.0	1,326	50.0	1,430	50.0	1,331	50.0	1,369
接合	900		350.0	350.0					350.0	100.0	350.0	100.0				900	吊込み	
			50.0	1,533	50.0	1,533			50.0	1,533	50.0	1,033	50.0	1,533	50.0	1,631	50.0	1,669
吊込み	950		996.0	996.0					1,034.0	931.0	1,039.0	938.0				950	接合	
			50.0	1,496	50.0	1,496			50.0	1,534	50.0	1,431	50.0	1,539	50.0	1,438	50.0	1,473
接合	1000		836.0	836.0					836.0	836.0	836.0	836.0				1000	吊込み	
			350.0	350.0	1,636	1,636			350.0	100.0	350.0	100.0						
吊込み	1050		50.0	1,939	50.0	1,939			50.0	1,939	50.0	1,239	50.0	1,939	50.0	2,043	50.0	2,077
			150.0	150.0	1,500	1,500			150.0	150.0	150.0	150.0						
接合	1100		1,118.0	1,118.0					1,156.0	1,036.0	1,164.0	1,043.0				1100	吊込み	
			50.0	1,618	50.0	1,618			50.0	1,656	50.0	1,536	50.0	1,664	50.0	1,543	50.0	1,577
接合	1150		939.0	939.0					939.0	939.0	939.0	939.0						
			450.0	450.0					450.0	100.0	450.0	100.0						
吊込み	1200		1,041.0	1,041.0					1,041.0	1,041.0	1,041.0	1,041.0				1200	接合	
			450.0	450.0	2,041	2,041			450.0	100.0	450.0	100.0						
接合	1250		150.0	150.0	150.0	150.0			150.0	150.0	150.0	150.0				1250	吊込み	
			150.0	150.0	150.0	150.0			150.0	150.0	150.0	150.0						

5. 円形レジンボックスの設置等を伴う掘削断面の決定上の留意事項

- (1) 次に掲げる工種に係る水道施設設置の掘削にあたっては、以下の記載に留意して「掘削断面」及び「土留め方法」を決定し、安全かつ良好な施工計画とすること。
 - ① 企業長指定材料である、円形レジンボックス（内径 500 及び内径 600）の設置を伴う給水装置工事に係る「仕切弁設置」、「消火栓設置」並びに「地下式空気弁設置」工事。
 - ② 不断水簡易仕切弁設置工事
- (2) 掘削深度が 1.5m を超える場合は、掘削切取面がその箇所の土質に見合った勾配によって地山の崩落なく掘削できる場合を除き、土留工を施すこと。
- (3) 掘削深度が 1.5m 以内であっても、掘削切取面に自立性が乏しい地山の掘削については、施工の安全を確保できる適切な勾配を定めて断面を決定するか、または土留工を施すこと。
- (4) 掘削方法は、『2. 掘削方法』に準ずるものとする。

6. 円形レジンボックスの設置等を伴う掘削幅

掘削幅は、【表-9.5.2 弁筐設置等を伴う開削工事の掘削幅算定表】（企業団が行う配水管拡張新設及び既設管改良更新を目的とした設計に用いる基準書掘削断面等に基づき、算出したもの）の値とすることができます。

また、管縦断方向の掘削延長は、「掘削幅」と同じかそれ以上として、作業の安全と良好適切な施工状態を確保すること。

なお、これに拠らない場合は、施工目的の管種管径における当該装置の吊り込み時及び作業範囲（埋戻し転圧等を含む）を考慮した掘削幅等の計算根拠又は作業条件等を示して設計審査を受けること。

【表-9.5.2 弁筐設置等を伴う開削工事の掘削幅算定表】

(数量単位：mm)

種別	掘削幅 (B')				種別
	管径	土留工なし	会所堀		
50 以下			掘削深度(D)	掘削延長(L)	
1, 300		合成樹脂管は適用なし		50 以下	
		300	500	75	
				100	
				150	
				200	
				250	
				300	
				350	
				400	
		600	800	450	

注)「土留工あり」の掘削幅は、「木矢板（矢板長 3.0 m 未満）、木製支保材」の使用を原則とした算出数値であるが、「軽量鋼矢板、軽量金属支保材」を使用する場合も適用できることとする。

上記掘削幅算定表は、別表 1 及び別表 2 の「掘削幅算定計算表」の「管径 700」を参考値として決定したものであり、車道用メーターボックス設置についても本表数値を用いる。

7. 円形レジンボックスの設置等を伴う掘削断面

- (1) 掘削断面は次頁とし、この断面を適用できる工種は次のとおりとする。

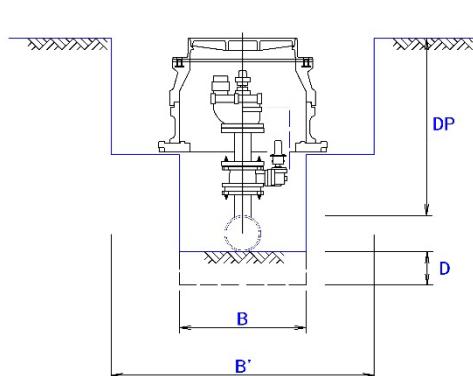
- 1) 仕切弁設置工（円形レジンボックス内径 500 mm の設置を伴うもの。）
- 2) 消火栓設置工（円形レジンボックス内径 600 mm の設置を伴うもの。）
- 3) 空気弁設置工（円形レジンボックス内径 500 mm の設置を伴うもの。）
- 4) 不断水簡易仕切弁設置工（レジンボックス又は鉄蓋等の筐類設置の有無を問わない。）

上記 1)から 3)において、円形レジンボックス設置後の埋戻し工事に使用する「転圧機械」の種類により、上表の断面の適用が施工上困難な場合は、主任技術者が別に定めて設計審査を受ける。

また、4)において、当該装置をメーカーの責任施工とする場合において、当該メーカー等の作業

責任者が現地の土質並びに作業条件等により、前頁表

の適用断面以外を指定し、当該指定工事業者の主任技術者との協議をもって決定する断面に制限を加えるものではない。



管径 (mm)	B (m)	B' (m)	D P (m)	D (m)	L (m)
50～200	表-9.5.1	表-9.5.2	0.6 以上	0.30	0.50
道路埋設の 50未満	表-9.5.1	表-9.5.2	0.4 以上	規定 しない	規定 しない

備考 D P : 管埋設深度（路面から管頂部までの距離）

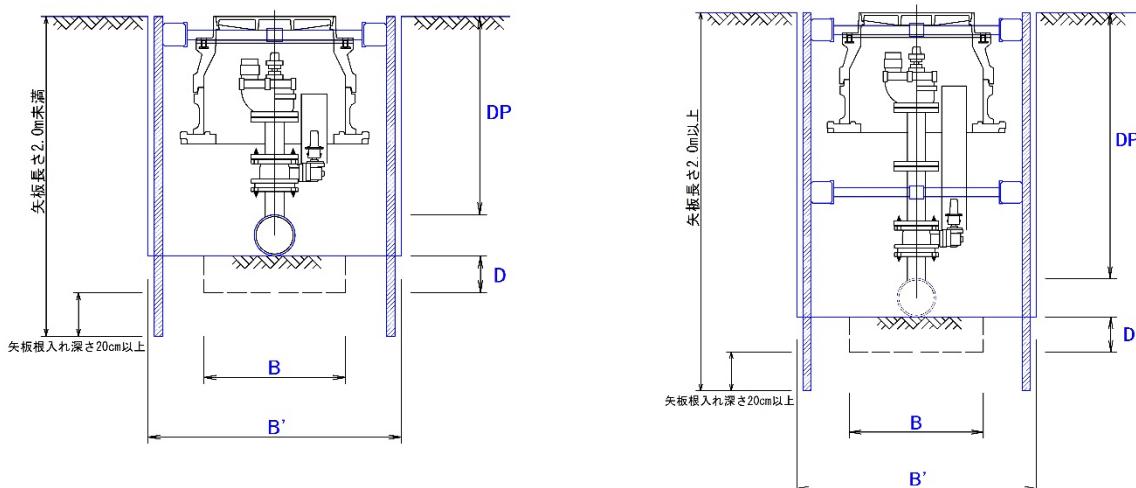
D : 会所掘の掘削深度

L : 会所掘の掘削延長

道路管理者から指示のある場合は別に定める。

※模式図は消火栓設置の例

- (2) 木矢板及び軽量鋼矢板を使用する場合の掘削断面は、(1)の各工種共に以下に示す断面によることとする。



注) 上記土留工の模式図は、軽量鋼矢板及び軽量金属支保材を用いたものであり、現場毎においてその土留仮設材料を限定するものではない。

また土留工の矢板設置について、根入深さは断面図に明記した数値（20cm）以上を以て施工することを原則とし、根入れなしの「掛け矢板」としてはならない。

管径 (mm)	B (m)	B' (m)	D P (m)	D (m)	L (m)
350 以下	表-9.5.1 土留工なし	表-9.5.2	—	0.30	0.50
400～450	表-9.5.1 土留工なし	表-9.5.2	—	0.60	0.80

備考 D P : 管埋設深度（路面から管頂部までの距離）

D : 会所掘の掘削深度

L : 会所掘の掘削延長

道路管理者から指示のある場合は別に定める。

8. 適用除外

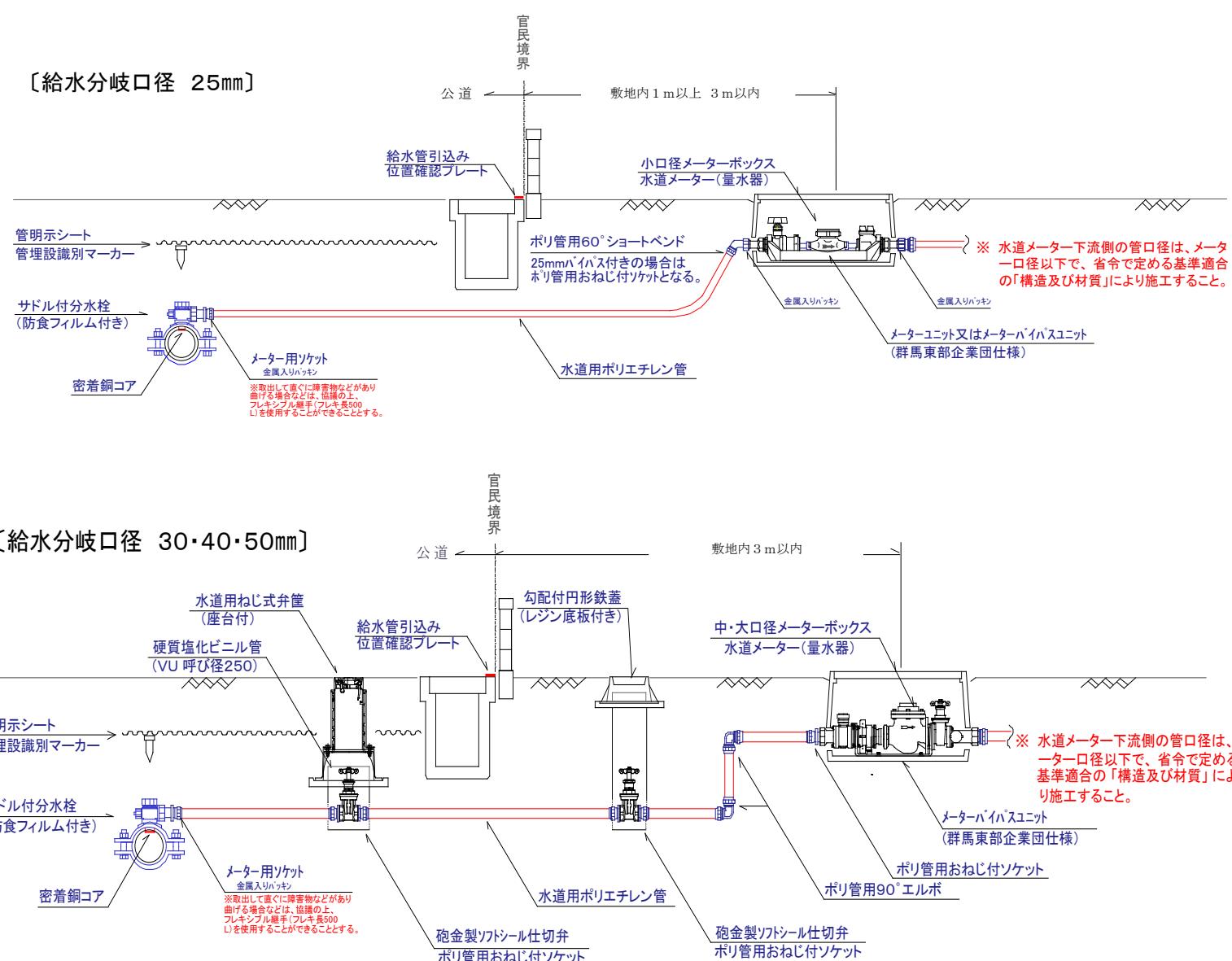
企業団発注の請負工事に係り、本掘削断面決定要領に掲らない設計根拠が明示された場合は、当該工事の設計図及び施工条件明示等を優先させて、当該工事の企業団指定監督員との協議により工事を施行すること。

標準設計施工図

- | | |
|----------------------|---------|
| (給水装置標準施工模型図) | 資料 - 6 |
| (消火栓用レジンボックス標準組立図) | 資料 - 7 |
| (仕切弁標準設置図) | 資料 - 7 |
| (消火栓標準設置図) | 資料 - 7 |
| (仕切弁用勾配付円形鉄蓋標準設置図) | 資料 - 8 |
| (給水管位置確認標章 標準施工図) | 資料 - 9 |
| (給水装置工事申請書及び設計書 参考例) | 資料 - 10 |

群馬東部水道企業団

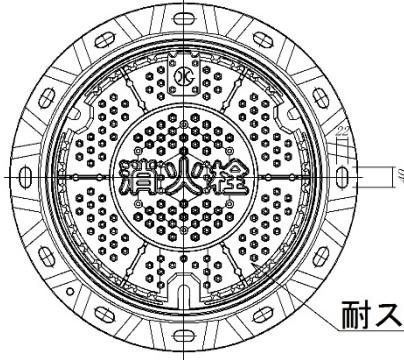
給水装置標準施工（模式）図



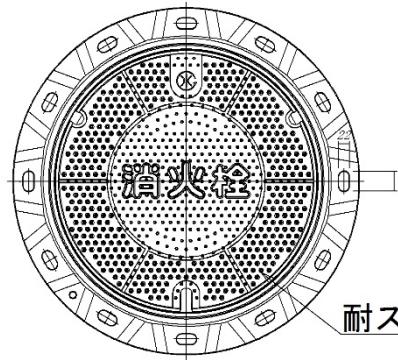
給水装置標準施工図			
分岐口径 25mm 標準型 (DP=1.2m 0.9m 0.6m 埋設)			
品番	名称	数量	規格・仕様
1	分水栓	1	水道用サドル付分水栓 JWWA B 117, B 136 (AS型)
2	メーター用ソケット継手	1	ユニオンナット×ボリ管継手 (インサートコア一体型)
3	合成樹脂管	必要 数量	水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762 (軟質1種二層管)
4	ポリエチレン管金属継手	1	60° ベンド JWWA B116 (インサートコア一体型)
5	メータユニット	1	施工基準『4.給水装置の施工』 4.5-5 参照
6	水道メーター (量水器)	1	施工基準『2.給水装置の計画』 2.6 で口径決定した貸与品
7	小口径メーターBOX	1	埋設用／企業団章入り
8	マーク	1	管理設 識別マーク (水道用マーク : MK-1W)
9	管明示シート	必要 数量	給水管用 管理説明シート (巾150mm, 融着2倍折込, 青色) 給水管引込み位置確認プレート (アルミダイキャスト製, 差込足付) 給水管引込み位置確認杭 (再生プラスチック製 KA60)
分岐口径 30、40、50mm 標準型 (DP=1.2m 0.9m 0.6m 埋設)			
品番	名称	数量	規格・仕様
1	分水栓	1	水道用サドル付分水栓 JWWA B 117, B 136 (AS型)
2	メーター用ソケット継手	1	ユニオンナット×ボリ管継手 (インサートコア一体型)
3	合成樹脂管	必要 数量	水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762 (軟質1種二層管)
4	仕切弁	1	砲金製ソフティールセイフセーフハンドル (左開き) 締過ぎ防止機能付
	仕切弁鉄蓋 (道路内)	1	水道用ねじ式弁蓋 (座台付) (荷重区分 : 車道 T-25)
	仕切弁鉄蓋 (宅地内)	1	砲金製ソフティールセイフセーフハンドル (左開き) 締過ぎ防止機能付
5	ガイド筐	必要 数量	硬質塩化ビニル (VU) 管 (呼び径 200mm) JWWA K 6741
6		2	ねじ付 ソケット JWWA B 116 (インサートコア一体型)
7	ポリエチレン管金属継手	2	90° エルボ JWWA B 116 (インサートコア一体型)
8		1	ねじ付 ソケット JWWA B 116 (インサートコア一体型)
9	メータバイパスユニット	1	施工基準『4.給水装置の施工』 4.5-5 参照
10	水道メーター (量水器)	1	施工基準『2.給水装置の計画』 2.6 で口径決定した貸与品
11	中・大口径メーターBOX	1	埋設用／社員協議 (50mm)
12	マーク	1	管理設 識別マーク (水道用マーク : MK-1W)
13	管明示シート	必要 数量	給水管用 管理説明シート (巾150mm, 融着2倍折込, 青色) 給水管引込み位置確認プレート (アルミダイキャスト製, 差込足付) 給水管引込み位置確認杭 (再生プラスチック製 KA60)
群馬東部水道企業団			

消火栓用レジンボックス 標準組立図

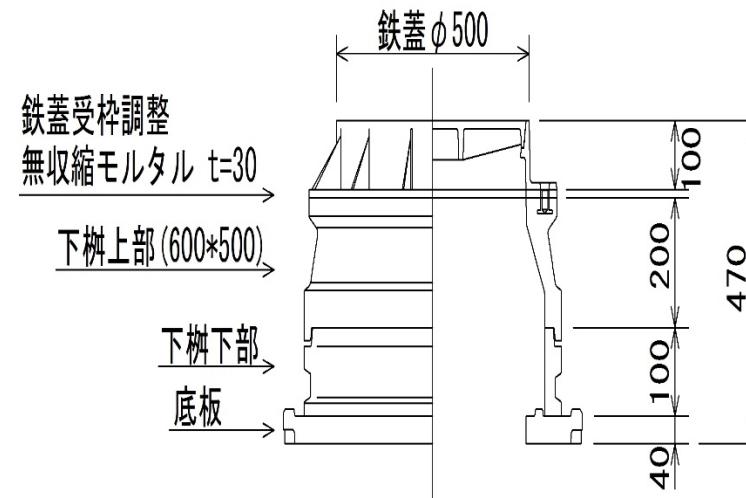
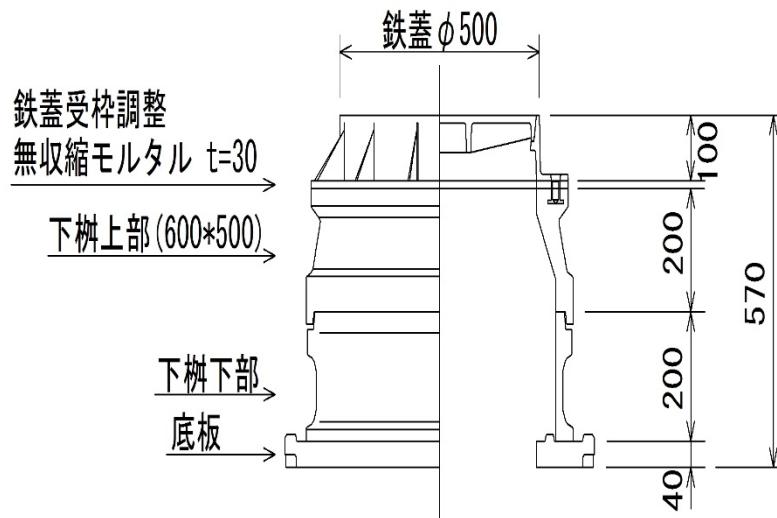
(国・県・市道埋設標準)



(歩道埋設標準)



耐スリップ表層構造

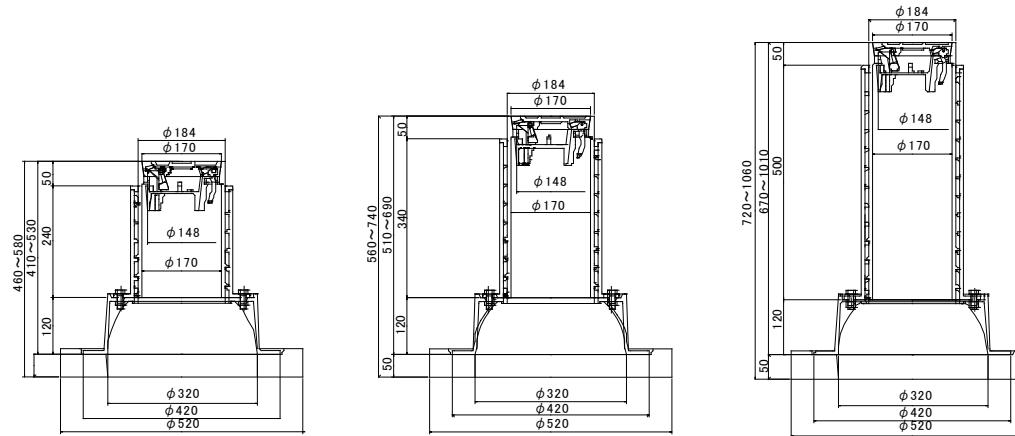
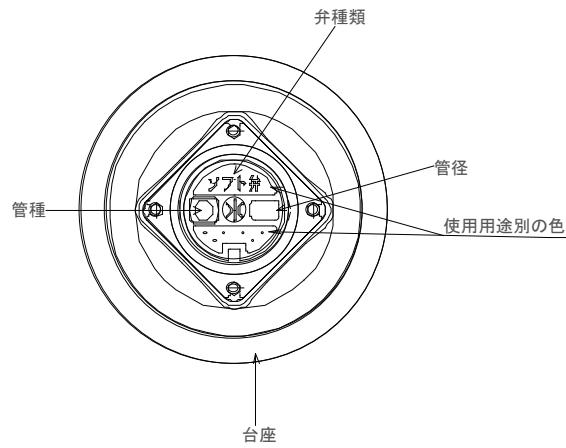


図種 消火栓用レジンボックス標準組立図				
種別 国・県・市道埋設標準型 (DP=1.2m、0.9m 埋設用)				
品番	名称	材質	個数	備考
1	鉄蓋	F C D	1	各団体指定品 $\phi 500$ 消火栓
2	下枠上部 $H=200$	レジンコンクリート	1	企業団型 50-60-200A
3	下枠下部 $H=100$	レジンコンクリート	1	企業団型 60-200C
4	底板 $H=40$	レジンコンクリート	1	企業団型 60-40S

種別 歩道埋設標準型 (DP=0.6m 埋設用)				
品番	名称	材質	個数	備考
1	鉄蓋	F C D	1	各団体指定品 $\phi 500$ 消火栓
2	下枠上部 $H=200$	レジンコンクリート	1	企業団型 50-60-200A
3	下枠下部 $H=100$	レジンコンクリート	1	企業団型 60-100C
4	底板 $H=40$	レジンコンクリート	1	企業団型 60-40S

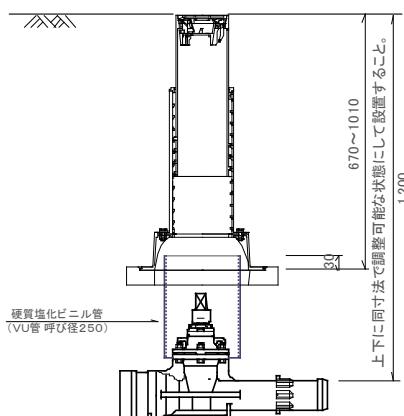
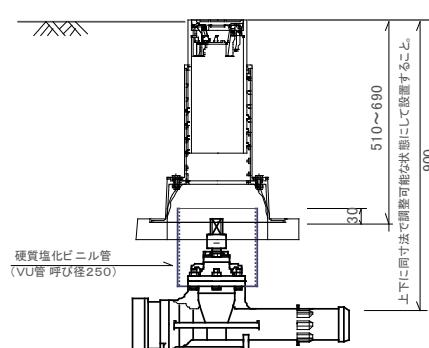
群馬東部水道企業団

水道用ネジ式弁筐 標準図

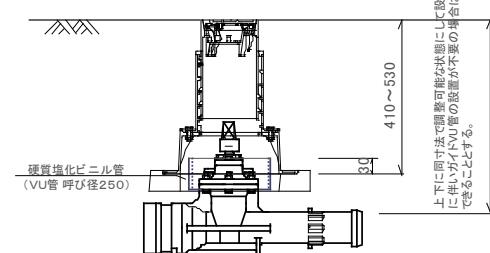


仕切弁 標準設置図（模式図）

(国・県道 車道標準設置図)

(国・県道 歩道標準設置図)
(市道 車道標準設置図)

(市道 歩道浅層設置特例図)



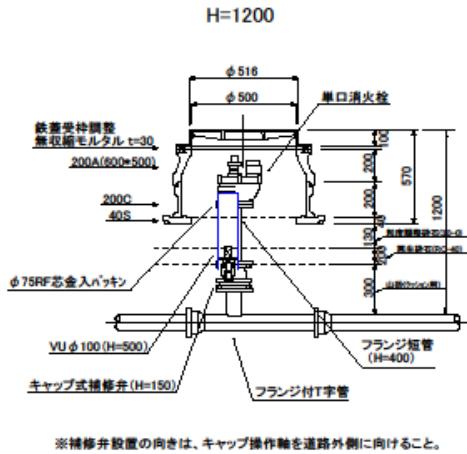
- 注1) 既設管の埋設深度が、本標準より深い場合は、既設深度に合わせることを原則とする。
- 注2) 模式図の「仕切弁」は、ソフトシール仕切弁N S型受挿しタイプであり、ネジ式弁筐・ガイド筐設置様態は、仕切弁やネジ筐の規格及び口径により異なる。
- 注3) 標準図・模式図の寸法は参考寸法であり、企業長指定品におけるメーカーを指定するものではない。

図種				
仕切弁 標準設置図				
種別				
国・県道（車道）埋設標準型（大型・1号） (DP=1.2m 埋設用)				
種別				
国・県道（歩道）埋設標準型（中型・3号） 市道（車道）埋設標準型（中型・3号） (DP=0.9m 埋設用)				
種別				
市道（歩道）埋設標準型（小型・4号） (DP=0.6m 埋設用)				
品番	名称	材質	個数	備考
1	仕切弁	砲金製 (ソフトシール)	1	企業長指定品 (ハンドル式又はキャップ式)
		ソフトシール		JWWA B 120 及びその準拠品
		ボールベアリング		JIS B 2062 並びに JWWA B 122 とその準拠品
2	ガイド筐	硬質塩化ビニル管	1	VU 管 : JIS K 6741
3	ガイド筐 固定材	単粒碎石	1	単粒(五分)砂利 (20mm 以下を推奨する)

群馬東部水道企業団

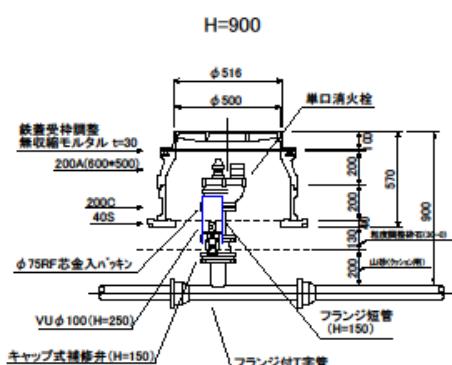
消火栓 標準設置図(埋設管縦断面)

国・県道 標準設置図 S=Free



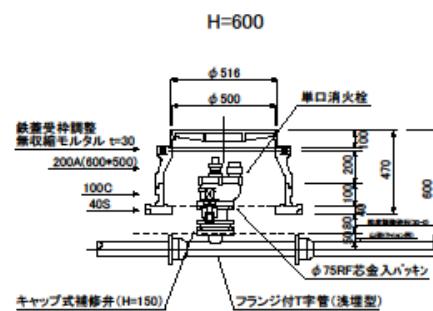
※補修井設置の向きは、キャップ操作軸を道路外側に向けること。

市道 標準設置図 S=Free



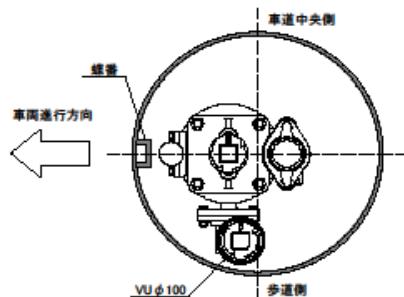
※補修井設置の向きは、キャップ操作軸を道路外側に向けること。

歩道 浅層設置特例図 S=Free

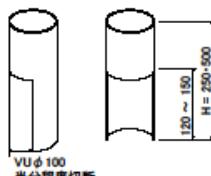


注) レジンボックス内に敷き均す「粒調碎石」は、
補修弁の開閉に支障のないように注意して施工
すること。

単口消火栓室設置平面図 S=Free



VU φ 100参考図 S=Free



図種	消火栓 標準設置図（道路縦断面）			
----	------------------	--	--	--

種別	国・県道埋設標準型 (DP=1.2m 埋設用)			
----	-------------------------	--	--	--

品番	名称	規格	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103
2	フランジ短管	呼び径 75 L150	1	フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを奨励
3	補修弁	キャップ式	1	2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
4	フランジ付 T字管		1	GX型 フランジ形式 GF フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを奨励

種別	市道埋設標準型 (DP=0.9m 埋設用)			
----	-----------------------	--	--	--

品番	名称	規格	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103
2	フランジ短管	呼び径 75 L400	1	フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを奨励
3	補修弁	キャップ式	1	2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
4	フランジ付 T字管		1	GX型 フランジ形式 GF フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを奨励

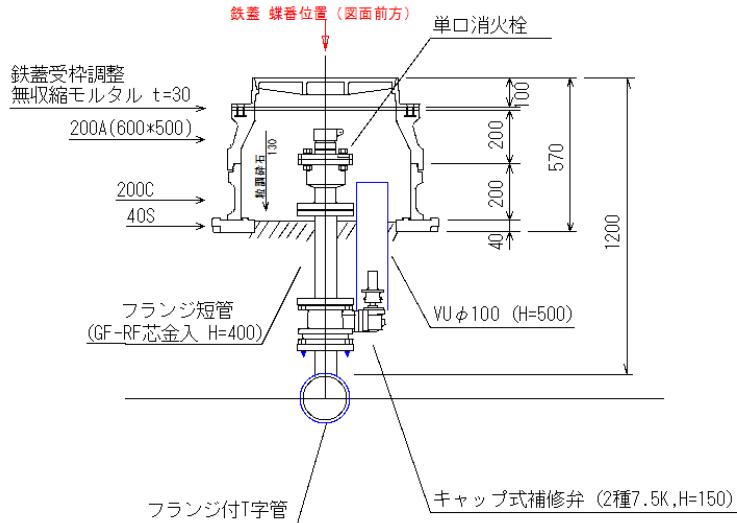
種別	歩道浅層埋設型 (DP=0.6m 埋設用)			
----	-----------------------	--	--	--

品番	名称	材質	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103 浅層埋設対応型
2	補修弁	キャップ式	1	2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
3	フランジ付 T字管	浅層埋設型	1	GX型 フランジ形式 GF フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを奨励

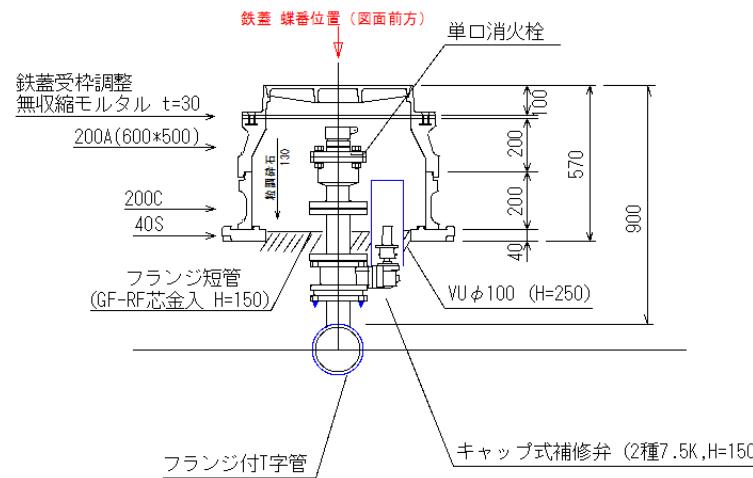
群馬東部水道企業団

消火栓 標準設置図（埋設管横断面）

(国・県道 標準設置図)



(市道 標準設置図)



注) レジンボックス内に敷き均す「粒調碎石」は、
補修弁の開閉に支障のないように注意して施工
すること。

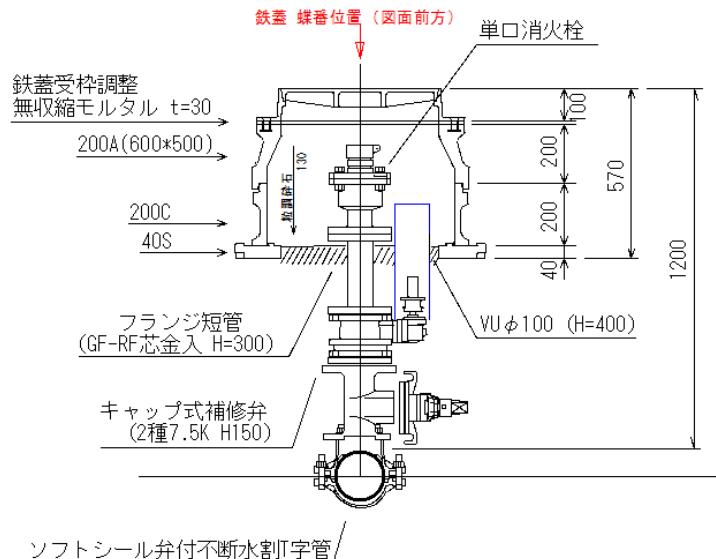
消火栓 標準設置図（道路横断面）				
種別	国・県道埋設標準型 (DP=1.2m 埋設用)			
品番	名称	規格	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103
2	フランジ短管	呼び径 75 L400	1	フランジボルト SUS304 M16 SDC 处理ナットを要勧
3	補修弁	キャップ式	1	2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
4	フランジ付 T字管		1	GX型 フランジ形式 GF フランジボルト SUS304 M16 SDC 处理ナットを要勧

種別	市道埋設標準型 (DP=0.9m 埋設用)			
品番	名称	規格	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103
2	フランジ短管	呼び径 75 L150	1	フランジボルト SUS304 M16 SDC 处理ナットを要勧
3	補修弁	キャップ式	1	2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
4	フランジ付 T字管		1	NS型 フランジ形式 GF フランジボルト SUS304 M16 SDC 处理ナットを要勧

群馬東部水道企業団

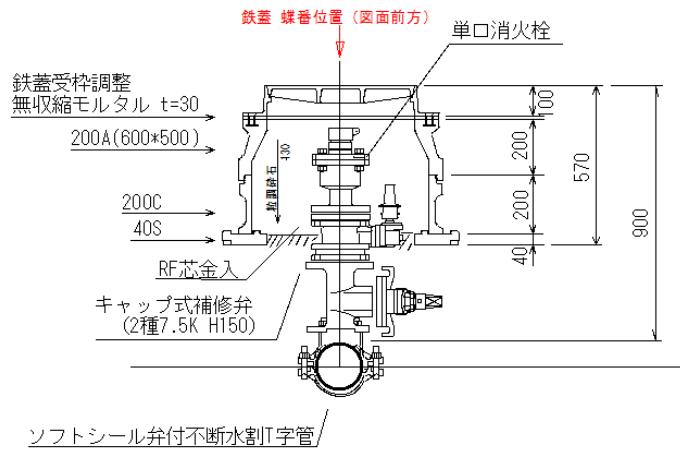
消火栓 標準設置図（不断水工法）

(国・県道 標準設置図)



※補修弁位置は道路外側への設置を標準とする。

(市道 標準設置図)



※補修弁位置は道路外側への設置を標準とする。

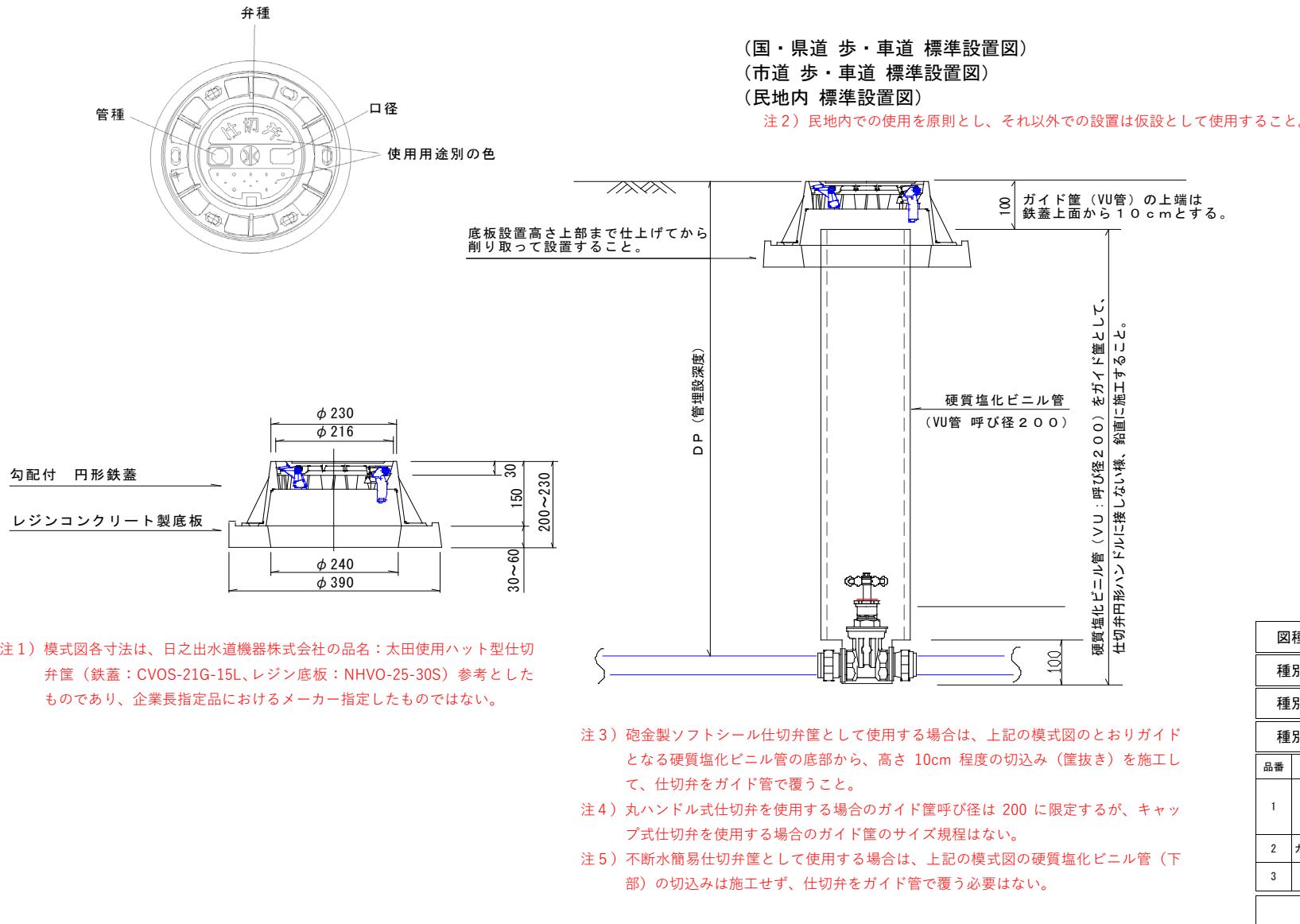
注) レジンボックス内に敷き均す「粒調碎石」は、
補修弁の開閉に支障ないように注意して施工
すること。

図種		消火栓 標準据付図（不断水工法）		
種別		国・県道埋設標準型（DP=1.2m 埋設用）		
品番	名称	規格	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103
2	フランジ短管	呼び径 75 L300	1	フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを要勧 2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
3	補修弁	キャップ式	1	鋳鉄管用 フランジ形式 RF フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを要勧
4	不断水割T字管	ソフトシール仕切弁付	1	

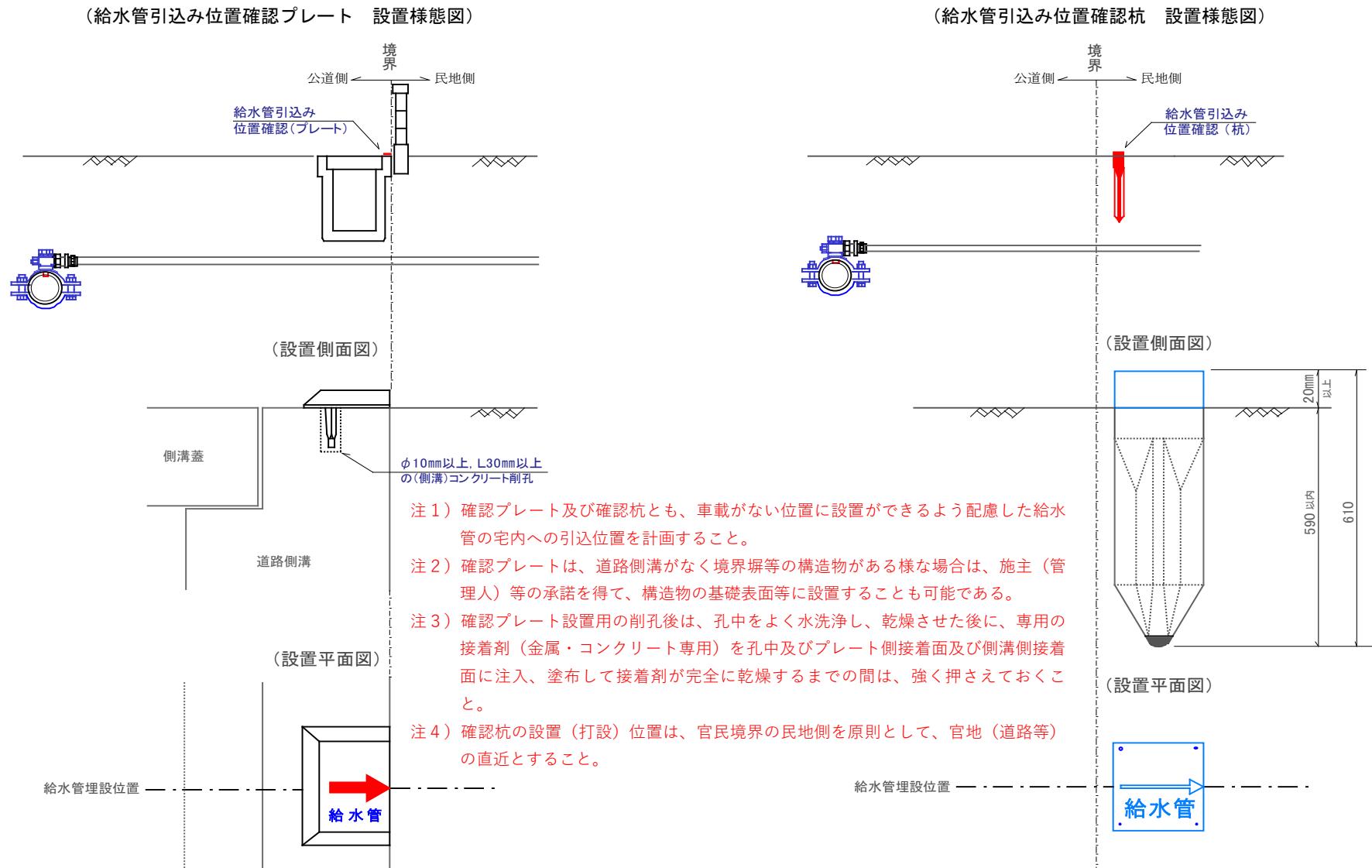
種別		市道埋設標準型（DP=0.9m 埋設用）		
品番	名称	規格	数量	備考
1	消火栓	地下式単口	1	JWWA B 103
2	補修弁	キャップ式	1	2種 7.5K L150 フランジ形式 RF-GF
3	不断水割T字管	ソフトシール仕切弁付	1	鋳鉄管用 フランジ形式 RF フランジボルト SUS304 M16 SDC処理ナットを要勧

群馬東部水道企業団

仕切弁用 勾配付円形鉄蓋 標準設置図



給水管位置確認標章 標準施工図



様式第1号（第11条関係）

受付	年 月 日	第 号
----	-------	-----

課 長	係 長	設計審査	係

水栓番号	
メーター番号	

給 水 装 置 工 事 申 込 書

(あて先)

群馬東部水道企業団 企業長

※日付は提出時に記入

年 月 日

申込者（給水装置所有者） 住 所 ○○市○○○町○○-○
 ㊞ 姓 名 ○○ ○○○
 氏 名 ○○ ○○○

私（申込者）は、群馬東部水道企業団給水条例を契約の内容とすることに合意したうえで、同条例第6条の規定に基づき、次の通り給水装置工事を申し込みます。

なお、以下の指定給水装置工事事業者を代理人と定め、本給水装置工事の申し込み手続き並びに施工及びこれらの変更に係る権限を委任します。

また、群馬東部水道企業団給水条例及び関係法令等を守るとともに、以下の事項について、遵守します。

- 1 利害関係等により、本給水装置の使用に支障が生じた、又は本申込等について、第三者から異議申し立てを受けたときは、私が責任をもって解決します。
- 2 水道メーター（又は第一止水栓）以降の給水装置等の維持管理及び漏水事故等については、私が責任をもって対処します。

工事場所	× × 声 × × 町 × × - × × 番		※建築確認住所などをすべて記入 ※該当する項目に○	
工事種別	①新設 2.改造 3.臨時 4.給水管 5.口径変更		メーター 口径 20 mm	
指定給水装置工事事業者	指定番号	第 △△△ 号		
	所在地	△△市△町△△-△		
	事業者名	△△設備株式会社		
	電話番号	△△△△△-△△-△△△△△		
主任技術者氏名	△△ △△△			
許認可日	①建築確認 2.開発許可 (元号 2 年 1 月 6 日 許認可)		完成年月 元号 〇〇年〇〇月	
			内線工事 ①有 ②無	

同意書欄は、すべての権利関係者より同意を得てから記入してください。

同 意 書	同意種別	水栓番号	住 所	氏 名
	分岐・土地・家屋	○○○○○○	○○市○○町○○-○	○○ ○○
	分岐・土地・家屋		□□市□□町□□-□	□□ □□
	分岐・土地・家屋	●●●●●●	●●市●●町●●-●	●● ●●

(注) これより下の枠内は、記入しないでください。

企業団納付金（徴収番号)			承認印（徴収済）	メーター庫出
加入金	メータ一口径			
	mm 個貸与	円		入力確認
設計審査手数料		円		検査
しゅん工検査手数料		円	月 日	
手数料合計		円	m ³	

注：用紙サイズはA3となります。

様式第5号（第11条関係）

※日付は提出時に

提出日 年 月

※方位が異なる場合は訂正

検査

受付	年月日	收受番号	第号	水栓番号		
※該当する項目にチェック 給水装置工事 (<input checked="" type="checkbox"/> 設計書 · <input type="checkbox"/> しゅん工図)						
申込者(所有者)	○○ ○○○					
工事場所	※建築確認住所等を全て記入 ××市××町×××-××番					
工事種別	① 新設 2. 改造 3. 臨時 4. 給水管 5. 口径変更			メーター	口径 20	
使 用 材 料						
公道分				宅地分		
品名	形状	数量	備考	品名	形状	数量
公道分岐工 (DIP)	100×25	1.0		キッチン用シャワー付き混合水栓	13	1.0
ポリエチレン管	25	3.5		バス用シャワー付き混合水栓	13	1.0
管明示シート	一式			洗面用湯水混合水栓	13	1.0
識別マーカー		1.0	個	洗濯機用単水栓	13	1.0
引込位置確認プレート		1.0	個	トイレロータンク	13	2.0
				コン柱用単水栓	13	1.0
道路掘削埋戻工		1.4	m ³			
舗装工 (仮復旧)		1.5	m ²	給湯器用止水栓	20	1.0
舗装工 (本復旧)		3.7	m ²			
交通誘導員		2.0	人	ビニール管 (HIVP)	20	27.0
				架橋ポリエチレン管	13	26.0
				架橋ポリエチレン管	16	2.0
				量水器取付工	20	1.0
				メーターユニット	20	1.0
				メーターBOX	小	1.0
給水管取出日	承認印	上記の材料について、政令で定める基準に適合していることを確認いたしました。				
		指定給水装置 工事事業者名 △△設備株式会社				
		主任技術者氏名 △△ △△△				

